

# 熊本地震支援第 12 班活動報告書

平成 28 年 5 月 2 日  
報告者 太田町薬局 齋藤武士

(1) 期日 4 月 29 日 (金) ~ 30 日 (土)

(2) 参加者 徳永仁 (九州保健福祉大学薬学部)、緒方賢次 (九州保健福祉大学薬学部)  
隈井義典 (かかりつけ薬局支援センター)、齋藤武士 (太田町薬局)・

(3) 支援先避難所

阿蘇熊本空港ホテル エミナース

〒861-2202 熊本県上益城郡町田原 2071-1, TEL 096-286-1111

(4) 日中の派遣先

1) 西原村立西原中学校 (避難者 444 名)

〒861-2402, 熊本県阿蘇郡西原村小森 3251, TEL 096-279-2003

2) 西原村立山西小学校 (避難者 419 名)

〒861-2402, 熊本県阿蘇郡西原村小森 2767, TEL 096-279-2004

(5) 行程

29 日 (金)

7:10 宮崎県薬剤師会出発

7:20 宮崎西 IC より高速に乗る

7:50 隈井先生、都城北高速バス乗り口にて合流

8:10 霧島 SA にて休憩

11:00 熊本県薬剤師会館到着 (担当の藤本洋一先生へ挨拶、タイレノールと保冷材を受領)

12:45 エミナース到着、前任の薬剤師と引き継ぎ

13:00 西原中学校と山西小学校に、それぞれの前任の薬剤師とともに車 2 台で移動

13:20 西原中学校到着 (緒方先生と小坂先生→徳永先生と緒方先生)

13:25 山西小学校到着 (宮本先生と甲斐先生→齋藤と隈井先生)

16:00 山西小学校での支援終了、齋藤と隈井先生で西原中学校へ移動

16:50 西原中学校での支援終了

17:00 西原町役場にて医療班全体ミーティング

18:30~20:00 エミナースにて薬剤師班ミーティング

20:30 夕食

22:00~02:00 宮崎チームの夜間調剤 (福岡チームはこの間、就寝)

2:00 就寝

30 日 (土)

5:30 起床

6:50 朝食

8:15 西原中学校と山西小学校へ出発

8:30 西原中学校に到着 (徳永先生、緒方先生)

8:40 山西小学校に到着 (齋藤、隈井先生)

8:50 山西小学校 支援開始

9:00~9:15 西原町役場にて医療班全体ミーティング (徳永先生)

9:00~9:15 西原町役場前日赤救護所にて薬剤師ミーティング (緒方先生)

9:20 西原中学校 支援開始

11:15 山西小学校での支援を中断して、齋藤と隈井先生で中西中学校へ移動

11:30 中西中学校 緒方先生を残して、後任への引き継ぎのためエミナースに戻る

11:45 エミナースにて、後任の薬剤師と引き継ぎ

12:30 西原中学校と山西小学校に、それぞれの後任の薬剤師とともに車 2 台で移動

12:45 西原中学校到着 (徳永先生と緒方先生→江上先生と石原先生)

12:50 山西小学校到着（齋藤と隈井先生→山田先生と新留先生）  
13:00 西原中学校 引き継ぎが終わり、徳永先生と緒方先生で山西小学校へ移動  
14:30 山西小学校 引き継ぎが終わる。  
14:40 出発（益城インターは渋滞との前任からの情報で、嘉島インターを使用）  
17:20 隈井先生、都城北高速バス乗り口にて下車  
18:00 宮崎県薬剤師会館到着  
※熊本県薬剤師会館へは寄らず、電話にて終了報告。後日、報告書をメールにて送信

## (6) 活動報告

### 1 日目

→山西小学校（齋藤、隈井先生）

13時30分より診察開始。神奈川県の日赤医療班（医師1名、看護師2名、主事1名）が在駐。薬剤師のうち1人が診察室に入り、医師の真横に座り、薬の在庫状況（事前に一覧は渡してある）や服用回数や代替医薬品等の質問があれば即座に対応する。医師や看護師よりカルテと災害用処方箋を受け取り、横にいる保健師に薬の内容を記録してもらい、あと一人の薬剤師に手渡す。受け取り後、もう一人の薬剤師が調剤。患者より他薬や副作用歴等以外に、処方箋に薬剤師が記入する住所と電話番号を確認。処方箋に生年月日や処方日等の記入漏れがあるときは薬剤師が確認して記入しなければならない。調剤して投薬後、日赤にカルテは返し、災害用処方箋はこちらで保管しエミナースにまとめて持ち帰る。また基本的に災害用処方箋は薬剤師が持参して医師に渡すことになっているようで、不足すれば薬剤師が小学校の職員室でコピーして渡す。本日は災害用処方せんをもとにして5枚を調剤。イソジンガーグルに関しては、処方なしで医師が必要と判断すれば、医師が直接手渡しできるようになっていた。必要に応じて予防用で弾性ストッキングを看護師が手渡していた。日赤医療班の撤退後、薬剤師2名による体育館内の巡回においてシップ薬などのOTC対応を行った。

前任より引き継ぎはあるが、日々状況が変わっているため注意が必要。常に注意を払いながら状況判断して、臨機応変に対応する必要がある。

→西原中学校（徳永・緒方先生）

群馬県立病院の医療班（医師1名、薬剤師1名、看護師1名、調整員1名）が在駐となり、当日13時30分より山西小学校同様に日赤の医療班が往診予定であったが、群馬県立病院の医療班のみ。医療班の薬剤師は看護師とともに、患者のけが等の対応におわっていた。午後からは処方せん調剤はなかったが、OTC対応や前日の服薬指導など行う。

→西原町役場（徳永先生、隈井先生、齋藤）

医療班全体ミーティングでは、各団体が報告を行った。明日、熊本歯科医師会による、主に入れ歯等の口腔ケアがあると案内があった。山西小学校、河原小学校、西原中学校、各1時間ずつ。まずは山西小学校では、水道がもうすぐ復旧する。ノロ疑いの被災者は陰性。徘徊の老人がいて、夜間監視を希望する男性に任せていたが、無資格のボランティアの方だった。兵庫県の保健師に対応をお願いした。西原中学校では今夜から看護師の24時間体制が始まる。ただ夜間は医師不在のため、阿蘇医療センターの医師が電話対応する。緊急時の携帯番号を案内。エコノミー症候群を予防するためラジオ体操等報告。河西小学校では、ノロ患者は下痢と嘔吐はなくなった等報告があった。薬剤師会として、山西小学校を齋藤、西原中学校を徳永先生が報告。フォローを隈井先生が行った。

→エミナース（徳永先生、緒方先生、隈井先生、齋藤）

薬剤師班ミーティングでは、熊本県薬剤師会の中村先生と徳島県薬剤師会の大林先生が中心となり、福岡県薬剤師会（4名）、徳島県薬剤師会（3名）、熊本薬剤師会（2名）、宮崎県薬剤師会（4名）より担当避難所の活動報告後、議論を行った。主な内容として、エミナースと河原小学校を担当の福岡より、OTCにおいてはお年寄りが多いため、昔ながらの南天のど飴等の要望多数。水無で使用できる清拭材の在庫が沢山あるが、放置されているので利用すべき等。エミナースと大津町を担当の徳島からは、大津町では再び水道水が利用できなくなり、少数しかない仮設トイレに戻った。そのため水分を控える人が増え、それにともない便秘を訴えるも増えた。弾性ストッキングが不足している。虫よけの要望が多数あった。感染症予防のためマスクは沢山あるのに使用しない。OTCの特に要望が多いのが、皮膚、風邪、便秘、湿布。等の報告があった。エミナース担当の熊本からは、全体としてOTCで要望が多いのは、虫刺されによるかゆみ止め。ただしムヒ等の在庫が少ないことから、OTCと同じ扱いができるレスタミンコーワ軟膏を軟膏ツボへの小分けにて対応することに決まった。ちなみに軟膏ツボは中村先生の薬局の在庫や避難所近辺の薬局からお借りする。中村先生から、明日からは西原町役場と役場まえ日赤救護所の二つのミーティングには、手分けして出席するよう依頼があった。また救護所に多数ある水無しで使用できる清拭材とOS-1は、山西小学校や西原中学校の避難所にいるお風呂に入れられない方や熱っぽい方に配布するよう指示あり。

ミーティング終了後、徳永先生と緒方先生で、西原中学校に持参したOTC薬のリスト表を作成、また西原中学校に持参した医療用医薬品についてはユニパックにて分類ごとに整理対応した。

隈井先生が、医療用医薬品の一覧表の確認および更新を行った。

## 2日目

→山西小学校（齋藤と隈井先生）

薬剤師だけじゃなく、日赤医療班（3日間）と保健師（5日間）の担当も偶然、同時に変わるようになった。しっかりそれぞれの医療班が前任から後任に引き継ぎを行った。

まずは前任からの引き継ぎで確認の必要があった認知症のある老人。奥さんも認知症があるため娘さんに連絡を取るのが難しかった。定期薬が5月2日までしかなく、薬の数も多く救護所にも在庫がなかったため、開いている病院を紹介するためにも娘さんに連絡する必要がある。保健師さんに確認したところ無事娘さんとも連絡がとれ、薬に関しても何とかかなりそうであることが分かった。体育館内を巡回。目薬やシップ薬等の4件のOTC対応を行った。なお目薬に関しては、希望するサンテALクールの手持ちがなく、西原中学校にあるOTCのかごの中にあるので取りに行った。山田先生、新留先生へ引き継いだ後すぐに処方せん調剤があった。医師が変わることで処方する薬の内容も変わり、薬の手持ちがすぐなくなったので、別件でエミナースに戻っていた隈井先生に、ロキソニンとフロモックス、レバミピド、リンデロンVG軟膏を多めに持参していただくようお願いした。

→西原中学校（徳永先生と緒方先生）

初日と同様に群馬県立病院の医療班と診療。処方せん調剤3件と、この救護所で以前処方された、ノンコンプライアンスである患者への服薬指導をあらためて行った。その後、江上先生と石原先生へ引き継いだ。

### (7) 今後の課題

現在、長期化することで新たに生じる問題や学校が始まるため小学校の教室を避難所として使えなくなる等の問題も生じたため、自宅の崩壊していない被災者をより多く住まいに帰す取り組みを始めている。避難所での診察では、間に合わせ程度の薬だけ処方して、なるべく開院している病院を紹介する。巡回でOTCを相談して手渡す時も、その点を十分注意しながら適切な対応をしていく必要があると思う。

エミナースでの夜間の相談、OTCによる対応のため、福岡県と宮崎県の薬剤師会で10時から6時まで4時間交代で起きている。29日と30日はゼロだった。長期化するにあたり人手不足を少しでも解消するためにも、担当を決めて入り口に「御用の方は、鳴らして下さい」等の貼り紙と呼び鈴等を設置し、担当者もできるだけ仮眠をとり体力維持に努めることも必要かと思われます。以上、箇条書きになりましたが、報告申し上げます。

### (8)



避難所では薬剤師と分かる  
ライフジャケットを！



第12班メンバー



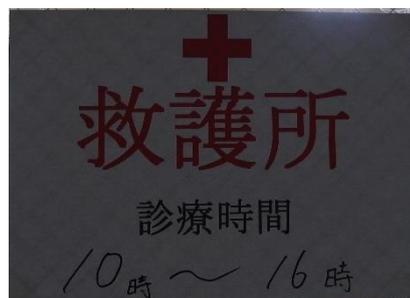
山西小学校での手持ちの医薬品とOTC



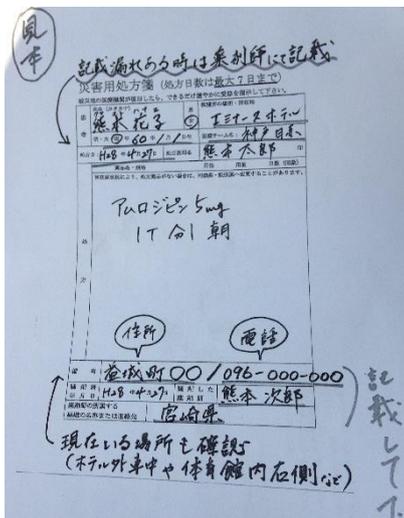
調剤台



エミナースの救護所では10時～16時までは日赤が診療を行う



救護所の薬局受付と相談窓口



災害用処方箋の記入例

西薬名	用法	持参薬	西薬名	用法	持参薬
アスピリン	1日3回、食後30分、100mg	持参薬	アスピリン	1日3回、食後30分、100mg	持参薬
イブプロフェン	1日3回、食後30分、200mg	持参薬	イブプロフェン	1日3回、食後30分、200mg	持参薬
ロキソニン	1日3回、食後30分、120mg	持参薬	ロキソニン	1日3回、食後30分、120mg	持参薬
...	...	...	...	...	...

エミナース救護所の備蓄薬リスト  
※水色は手持ちにあるもの

日	西原中学校へ持参したOTC薬リスト
1	サンテ抗菌新目薬
2	サンテALクール
3	マイテアGL
4	シャルマン
5	ローションソフト
6	ピオフェルミン止瀉薬
7	スゾクテスミン
8	新ピロフェルミン錠
9	第一三共胃腸薬プラス
10	イノアパハラス
11	大田胃腸
12	ビタミン剤
13	アリナミン錠
14	ビタミンC2000ソフト
15	ツムラ葛根湯顆粒
16	葛根湯エキス錠スコタロー
17	ストアピ
18	ベツダブロックP
19	バファリンA
20	バファリンD
21	タムラール
22	ツムラ
23	ザンセンAL鼻炎スプレー
24	ステオノドスプレー
25	イソジン消毒
26	マキロンS
27	新コロゲンコーワがくすり
28	ハリックス55EK希酸A
29	ハリックス55EK希酸B
30	ハリックス55EK希酸C
31	コロゲンコーワ
32	ウナオウエースG
33	...
34	...
35	...
36	...
37	...

持参 OTC 薬リスト

【災害用 緊急薬袋】  
処方履歴が記入されています。  
繰返しご使用願います。

**おくすり袋**

お名前 様

□内用薬 処方履歴

月日	薬名	用法	医師	薬剤師
1日	ロキソニン	食前・食後 1日3回、食後30分、120mg	医	薬
1日	ロキソニン	食前・食後 1日3回、食後30分、120mg	医	薬
1日	ロキソニン	食前・食後 1日3回、食後30分、120mg	医	薬

□外用薬 処方履歴

月日	薬名	用法	医師	薬剤師
	うがい薬	坐薬	塗り薬	医・薬
	うがい薬	坐薬	塗り薬	医・薬
	うがい薬	坐薬	塗り薬	医・薬

災害用緊急薬袋は、表が内服、裏が外用に、なっています。記入法が特殊で、一つの薬品ごとに、薬剤師か医師かをチェックして、名前を記入する欄があります。

手洗い水も出ないので、液体石鹸をつけて、消毒液で洗い流します。ちなみに液体石鹸や消毒液は、薬剤師が巡回しチェックして、足りなければ補充します。

災害用 緊急薬袋



トイレは、水不足で流れないため、あらかじめ汲んであるバケツの水で流します。



トイレの洗面台